

人材育成と強く柔軟な組織体制の整備

SDGsの ゴール・ 目標	16 平和と公正を すべての人に
---------------------	---------------------

実施項目名	組織の見直し及び定員の適正な管理	所管課	行政管理課
主な課題	社会経済情勢の変化等により重要性を増した課題や多様化する行政需要に的確に対応し、事務及び事業の運営が簡素かつ効率的なものとなるよう取り組む必要があります。また、新・沖縄21世紀ビジョン基本計画に掲げる目標の達成に向け各施策を効果的に推進する必要があります。		
取組内容	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画を効果的に推進する機動的・弾力的な組織編成を行うとともに、県行政の役割や必要性を検証し、組織の再編、廃止、統合、縮小などの見直しを行います。定員については、多様化する行政需要や社会情勢の変化に対応できる体制を確保するとともに、定年引き上げによる影響も勘案し、適切な定員管理を行います。また、全国規模のイベント等の時限的又は臨時的に発生する業務については柔軟に対応します。知事部以外においても、知事部の定員管理の考え方を踏まえた適切な定員管理に努めます。		
取組による効果	事務及び事業の運営が簡素で効率的なものとなるよう組織を構築することで、行政サービスの向上が図られるとともに、必要な分野に集中的に職員を配置することにより、21世紀ビジョンの実現に資する諸施策が着実に推進されます。		
県民から見た行政運営の変化(実施項目の目標)	21世紀ビジョンの実現に資する諸施策を着実に推進する組織体制を整備することにより、県民ニーズに対応したきめ細やかな行政サービスの提供が図られます。		

■具体的な取組

取組項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	達成目標
1 組織の見直し 活動指標	→					重要性を増した行政課題等に対応できる簡素で効率的な組織の構築と定員の配置
	各所属ヒアリングによる課題抽出 これまでの見直しの検証作業 各部等の要望及び意見聴取  上記を踏まえ、効率的な組織体制整備に向けた見直し作業					
2 定員の適正管理 活動指標	→					
	多様化する行政需要や社会情勢の変化に対応できる体制を確保しながら適切に定員管理  各所属ヒアリングによる課題抽出 年1回 定数見直し作業 年1回(対象:全所属) 各部等の要望を踏まえ定数配置 年1回					

■ 成果指標

成果指標名	基準値 (R3又はR4)	年度ごとの目標値			
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
1 定員(基準日は4月1日)	4,244人 (R4定員+ 欠員)	4,250人程度	4,290人程度	4,300人程度	4,350人程度

【参考】これまでの主な取組

(組織)

平成17年度 局・室の廃止、班制の導入など

平成18～20年度 出先機関見直し(農業試験場園芸支場統合、名古屋事務所、福岡事務所廃止、  
農林水産振興センター設置、石嶺児童園に指定管理者制度導入等)

平成21年度 宮古支庁及び八重山支庁を廃止し、宮古事務所及び八重山事務所を設置

平成23年度 教育委員会から文化とスポーツに関する事務の一部を移管し、文化観光スポーツ部設置

平成26年度 福祉保健部を子ども生活福祉部と保健医療部に再編

(定員)

平成15～24年度 新沖縄定員適正化計画により673人を削減

平成25～28年度 沖縄県職員定数管理基本方針により平成25年度の水準をベースに管理

平成29～令和3年度 沖縄県定員管理基本方針により4,135人を基準として管理